



vol. **7**
2016
SPRING

かけはし

桃山学院大学教育後援会だより

特集

- ◆ 私の就職体験記
5
- ◆ 谷村新司 トーク&ライブ
5
- ◆ 現在の就職状況・傾向について
14



桃山学院大学教育後援会 「絆を結ぶ」体験を



教育後援会
副会長 和田 貴子

教育後援会には、大学と家庭の架け橋になること、そして、親と子、大学と親との絆をしっかり結ぶという使命があります。時代環境は大きく変化し、SNS(social networking service)の飛躍的な発達に伴い、情報が氾濫する世の中となりました。しかし、それらに流されることなく、学生の皆さんには、いろいろなことに関心を持ち、体験し、学生生活を実りのあるものにして4年間で力をつけ、無事に社会人として羽ばたいて欲しいと願っております。

大学時代に身につけるべき大切なことのひとつにコミュニケーション能力があります。これは、就職活動の際に企業が重視するポイントでもあります。どんどん進化する世の中にあっても大切なのは、人と人が向き合い、話を聴き、お互いを思いやる気持ちを大切にコミュニケーションする、ということ。思ったこと、感じたことを自分の言葉で表現することができる、ということ。このことこそが真にコミュニケーション能力を育てると考えています。

「海外研修報告会」や「ボランティア活動等発表会」では、学生たちが体験を立派に発表されます。仲間とコミュニ

ケーションを取り、体験し、発表する。その過程こそが学生たちを成長させ、人格を作り上げていくのだと感じております。学生の皆さんには教室での学びだけでなく、いろいろな活動に積極的に参加し、達成感・責任感・コミュニケーション能力を養い、大学生活をより有意義なものにしていただくように願っています。

また、6月より、大学主催で教育後援会が支援する「教育・就職懇談会」が全国14支部で実施されます。大学の教育方針・近況、学生生活、就職状況などについて、大学関係者から直接お話を聞ける良い機会です。ぜひご参加いただき、大学をより身近なものと感じていただければ幸いです。

子どもの成長にかかわる親としての務めも、大学時代が最後の機会となります。「教育・就職懇談会」の他、教育後援会本部・支部では講演会をはじめ様々な活動を行っています。これらに積極的に参加され、たくさんの方々とのかわりにより、「絆を結ぶ」体験をぜひ保護者の皆様にもしていただきたいと希望しております。

今後とも教育後援会にご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学院長 世界に一番近い大学



学院長
(日本聖公会大阪教区主教)
磯 晴久

桃山学院大学の建学の精神は、「自由と愛のキリスト教精神による人格の陶冶(とうや)」と「世界の市民の育成」です。その中の「陶冶」という言葉は、日常ではめったに使うことのない言葉ですが、わたしはすばらしい言葉だと考えています。その意味は、人間には天賦の才、天から、キリスト教で申しますと神から、いろいろな才能や能力を与えられている、それを育てあげて、大きな実りとするそういう意味のことばです。

想像していただきたいのですが、皆さんお一人おひとりが植木鉢を抱えている、そこには皆さんの可能性の種が植えられています。皆さんの中には、すでに自分の可能性の種の存在に気が付いている方もおられるでしょうが、まだ可能性の種が、眠っている方もあるでしょう。種はほっておいては、発芽しません。良き土壌、水、栄養、太陽の光が必要です。桃大には、皆さんにとって良き土壌、水、栄養、太陽の光となるものが沢山用意されています。熱い思いをもったすぐれた教員や職員がいます。そして皆さんの可能性の種が芽を出すためのきっかけとなるいろいろな仕掛けが、大学のあちらこちらにち

りばめられています。

先日朝日新聞の夕刊(4月1日)に、今を時めく女優黒木華さんが取り上げられ、「多彩に変化 万華鏡女優」という見出しがついていました。一つのタイプに固定されることなく、いろいろな役ができる人、相手との掛け合いの中で、思いがけない魅力的な姿を見せてくれる女優ということです。これは皆さんのことではないかと私は思いました。「多彩に変化 万華鏡学生」皆さんはいつ開花するかわからない、どんな形をなすかわからない才能の持ち主です。どうぞ思いもつかない多彩な変化をとげて、私たちを驚かせてください。

桃大は、皆さんが体験・経験を通して大きく成長することを知っています。教職員の方々も学生が何かを体験し、経験して成長することを知っていますから、懐深く、皆さんの自発的な行動を期待しています。皆さんの前に進もう、上に向かおう、世界にはばたこうという意志が、スタッフや様々な仕掛けと出会うとき、大きな実りへの道が開かれていきます。どうぞ多彩なスタッフと様々な仕掛けを思い切って使ってください。そして、世界の市民になってください。桃大は和泉市にあります。関西国際空港に一番近い総合大学と言えるでしょう。どうぞ広い世界に飛び立って行って下さい。

聖書の言葉

試練を耐え忍ぶ人は幸いです。
(新約聖書 ヤコブの手紙1章12節)

新入生の皆さん、そしてご家族の皆様、桃山学院大学へのご入学、おめでとうございます。

「人生に試練のない人、試練のない時はありません。」順調な時、何かを成し遂げたと感じたその瞬間に、思わぬ誘惑に陥り「試練」に直面することもあります。もちろん逆境の時にはそれこそ大いなる試練に出会っているように感じるものです。

要は、人生の中で、皆さんにはいろいろな困難な出来事が次々と押し寄せてきます。それらを、自分をおとしめる「誘惑」ととらえるか、それとも自分を立てあげていくための「試練」としてとらえるかで、その出来事の持つ意味が変わってきます。出来事を受けとめる自分の側の「姿勢、態度」の問題が大きく関わっているように思います。

ある出来事を「試練」としてとらえ、それを耐え忍ぶ人は、「幸いな」(＝神さまからの祝福を受ける)人である。こうしてみると、この聖書の言葉は人間の側の努力の大切さのみを強調しているように見えます。「では、神さまは関係ないのか」というと、そう

でもないのです。もともと試練を与えてくださるのも神さまだということが前提にあるからです。「あなたがたを襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはずです。神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。」(コリントの信徒への手紙(1) 10章13節)

私自身、40年前に送った大学生生活は、あとに続いた社会人としての長い生活の助走路だったように思います。学生の間に、人生の問題に立ち向かう自分の姿勢を整え、あらゆる出来事を神さまからいただく「試練」として受け止めていく態度を作り上げていくことができれば素晴らしいと思います。皆さんの桃山での健闘をお祈りします。



チャプレン
宮嶋 眞

2015年12月19日(土)

第6回 ボランティア活動等発表会

本学チャペルにて開催され、次の4団体の発表がありました。



1. 国際ボランティアサークル らぶ&ピース

- 2016年度で創立12年目を迎える。
- ボランティア活動以外にも、国内外のスタディツアー、講演会、報告会などを実施している。
- 2015年度はネパール大地震への募金活動を実施。5月18日から1週間、休憩時間や昼休みにチャペル前にて募金活動を行い、集まった義援金をネパール総領事館に寄付。ネパール大使館より感謝状をいただいた。

2. NPO法人キャンピズ

- 他団体の活動ではあるが、毎年本学社会学部社会福祉学科より多数の学生が参加。
- 障がいの有無、性別、年齢に関係なくお互いに助けあっていく社会を目指し「みんなで一緒にキャンプをしよう!」と、様々なキャンプを行っている。

- ディレクターの経験を通して、何をしたら喜んでもらえるか、キャンプをどう運営していくか考えることができた。学生生活の中で、何にも代えがたい経験となった。

3. 内モンゴル緑化ボランティア体験セミナー

- 2006年より特定非営利活動法人緑化ネットワークの指導の下、中国内モンゴル自治区にて砂漠化したエリアの緑化活動を行っている。
- 2015年度は11日間、4名の学生が参加。これまでの累計参加は181名となり、緑化活動地(桃山学院大学の森)面積は9haまで拡大した。

4. 国際ワークキャンプ(インドネシア)

- 2015年度20名の本学学生、インドネシア学生4名、引率教員4名、現地スタッフと共にインドネシアにて18日間実施。
- 主な活動は児童養護施設横の川の護岸工事。他に日本食パーティや異文化交流会、また現地の小中高等学校や看護学校での日本文化プログラムなども行った。

発表を聞いて、学生たちはボランティアを通して、色々な思い・考えが広まり、今後の人生において良い経験になったと思います。最後に、社会学部社会福祉学科 梅谷進康准教授より講評があり「人や社会のために情熱をもって主体的に取り組むことの大切さを知ったのではないか。この気持ちと行動力を忘れずに、これからも活躍してください」とお言葉をいただきました。



第55回 桃山祭



紅葉で色づき始めた本学和泉キャンパスにて開催されました。テーマは「一桃団結」。実行委員会と本学学生、さらに教職員や自治体、協賛企業の気持ちをひとつに、稲川淳二氏講演会「日本の怪談史」、ウキウキキャラライブ22、インターンシップ実習報告会等多彩なイベントが繰り広げられた3日間でした。初日と2日目は雨に見舞われたものの、模擬店テントが立ち並ぶ通りは、いつもながら学生の熱心な呼び込みや地域の方々、家族連れなど大勢の人達で賑わいました。



キャンパス見学参加

京都・滋賀支部 中村 文江

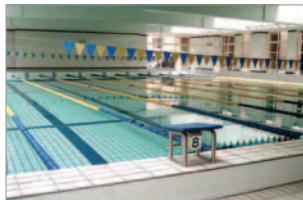


心配していた雨もあがり清々しい空気の中、学生たちの生き生きとしたエネルギーを感じながら学内の施設を見学させていただきました。

まず、聖アンデレ館内の図書館。70万冊の蔵書に嘆息しました。また利用が活性化されるよう、ブックハンティング等学生参加による活動もされているとお聞きしました。閲覧のためのレイアウトもいろいろと考えられておられるとのこと。3Fのグループスタディールーム、AVルーム、聖トマス館情報センターに設置された自習室でのパソコン設備の充実と利便性。その他、どの部屋にも落ち着きと伸びやかさを感じ、まさに至れり尽くせりで感激と感謝です。

さらにグラウンドを見渡せば、その美しさと学生たちの躍動感に心を打たれました。総合体育館ではプール施設、トレーニングルーム、いくつかのクラブの部屋などを見せていただきましたが、どれも美しく整えられており感心しました。

この様な恵まれた環境で学生生活を送れることに家族としても感謝いたします。



ジャグジー付 温水プール



トレーニングルーム

無料休憩所

大阪北支部 西村 浩一



桃山祭最終日、毎年恒例となりました、大阪南・北支部合同での無料休憩所をチャペル前にて設置いたしました。

当日は、準備中やや雨がぱらつきましたが、徐々に天候も回復し午後からは人通りも多くなり盛況でした。

本休憩所は、大阪南・北支部合同開催によるものですが、毎年、菓子や備品の手配等ほとんどを南支部でしていただいております。北支部一同、恐縮いたしております。今回、当番表を作成。北支部担当役員が効率よく対応できるようにしたことで運営に貢献できました。温かいお茶と菓子を提供。憩いの場、歓談の場として多くの方々にご利用いただくことができました。

遠方から桃山祭にお越しの支部会員の皆様、ぜひ、休憩がてら無料休憩所にお立ち寄りください。そして私たち大阪南・北支部の役員にお気軽に声をかけていただき、交流ができればと願っています。

最後に、設営面で毎年多大なご協力をいただいている大学関係の皆様、心より感謝申し上げます。





Congratulations!



3月17日(木)、2015年度卒業証書・学位記授与式が、また4月2日(土)、2016年度入学式が、総合体育館メインアリーナにおいて執り行われました。厳かな雰囲気の中、保護者をはじめ来賓、大学関係者等大勢の方々に見守られ、挙行されました。卒業生、そして新入生の皆さん、自分の夢に向かって新たなステージでがんばってください。



2016年1月9日(土)

第15回 「留学生振袖の会」開催

着物の体験を通して留学生に日本の伝統文化を感じてもらい国際交流をしようとスタートしたこの会も、今年で15回目を迎えました。国際センターのご協力のもと、松端克文副学長、松平功チャプレンにもご参加いただき、地域のボランティアや近畿各支部の保護者の皆様のご尽力で、6か国24名の留学生に着付け・ヘア・メイクをしていただきました。変わり結びなどの帯結びや茶道部によるお点前の披露もなされ、総勢102名の皆様が一堂に会して、本学の建学の精神である「世界の市民」を実感した1日となりました。



振袖の会によせて

大阪北支部 石橋 勢子



孫の大学入学を期に、留学生に日本の伝統衣装であるお振袖を体験していただくというボランティアイベントのことを知り、70歳を越えた私にも何かお手伝いできることがあればと、教育後援会の役員のお話をお受けしました。

毎年1月のこの日が楽しみになり、色々なお国の方々に着付けをさせていただき、留学生の皆様の喜びの顔に、私も元気をいただきました。関係者の皆様のご努力の中に、私も役員の一員としてお手伝いさせていただきましたことを深く感謝いたします。



クラブ活動報告 activities report

こんにちは、写真部です!

写真部部长 法学部2年 河本 亮太



現在、メンバーは25人で和気あいあいと楽しく活動しています。活動内容としては、4月に新歓展示会や、新入生歓迎撮影会、夏には夏展(心斎橋)や夏合宿、秋には大学祭にて展示会や模擬店の出店をします。冬にはクリスマス会や忘年会、撮影会などいろいろなイベントを開催します。撮影会では難しいと思われがち、一眼レフやミラーレス一眼での写真撮影を優しく丁寧にレクチャーします。

写真部で苦労していることは、展示する1枚のために試行錯誤して写真を撮ることですが、そこで素晴らしい1枚が撮れたときの喜びは計り知れません。

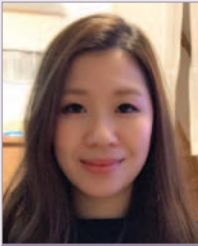
経験者はもちろん、初心者の方も大歓迎です。毎年、新入生の8割くらいが初心者です。新入部員にはカメラの貸出もしています。

ぜひ、この体験を一緒に味わおうじゃないか!

私の就職体験記

～説明会、選考を乗り越えて内定を!～

1. 在学時の就職活動を振り返って



吉岡 奈央さん
2015年3月
経済学部
経済学科卒業
池田泉州銀行勤務

就職活動が始まった頃はどんな仕事をしたいのかも考えておらず、説明会に行って様々な企業の話聞くようにしました。その中で、接客が好きなことと、自分の為にもなる銀行業務に興味を湧き銀行に絞って就職活動を始めるようになりました。また、大学のグループディスカッション対策講座で、キャリアセンターの方に「金融系が合っているのではないか」と言われたことでさらにやる気になりました。

就職活動は、平日はほぼ毎日スーツを着て、説明会や選考の予定を入れるようにし、休日はアルバイトという生活をしていました。また、説明会等の予定がない時はキャリアセンターに行き、エントリーシートの添削、相談をしていただきました。私が最も力を入れたのはエントリーシートです。選考に進めないという意味がないですし、最初に他大学の方と差をつけるためには、ここで頑張るしかないと思っていました。またエントリー

シートに書いたことは面接でも問われることが多いので、力を入れて書いた企業の面接ほど上手く話すことができた、今になって感じます。「蒔いた種に花を咲かす」という言葉を「説明会、選考を乗り越えて内定をいただく」と置き換えて、とにかく自分にできることを全力で行い頑張りました。

2. 銀行に勤務して

今は窓口業務を行っています。接客が好きなので、お客様に感謝のお言葉をいただくことにやりがいを感じます。ミスをして落ち込むこと、また勉強が得意ではないので、試験勉強に苦勞することもあります。日々成長を感じることができる仕事なので、頑張ろうと思えます。休みの日には旅行や買い物をし、楽しかった大学生活以上に楽しむことを目標にリフレッシュしています。日々の充実が私の原動力になっています。

3. 後輩学生の皆さんへ

就職活動において最も大切なことは、行動力と前向きな気持ちだと思います。行動せずには就活に慣れること、選考に進むことができません。また、前向きな人を好まない企業はありません。自信を持って、学生らしく元気で積極的に就職活動を充実させてください。

谷村新司氏 名誉博士学位授与 特別企画

2016年3月17日(木)



谷村新司 トーク&ライブ

ココロの学校 PREMIUM



学位授与式での谷村氏

「ココロの学校」は、「強いられる勉強ではなく、自らが望んで学ぶための場所を創りたい」という谷村新司氏の思いから2007年にスタートしました。氏自らが校長先生となり、学びたい人が望めばピアニストと最小スタッフでどこへでも出かけていき、地元子ども達ともコラボする。そんな素敵な移動学校です。今回は、谷村氏が桃山学院大学名誉博士学位を授与されることを記念してカンタベリーホールにて開催されました。

本部 坂本 啓子

チャイムの音が鳴り、谷村氏がにこやかな笑顔で登場。石坂慶彦氏の奏でるピアノにいざなわれトークが始まりました。谷村校長先生の元気良い掛け声に合わせて、ココロの学校のご挨拶「起立」「礼」「直れ」を交わして着席。関西に帰ると必ず歌われるという「三都物語」他「遠くで汽笛を聞きながら」「昴」など全12曲を、軽妙なトークを交えて熱唱されました。中でも特に心に残ったのは、音楽の持つ力のお話です。わらべうたを例に「昨日何を食べたかを忘れても、子どもの頃に覚えた歌は忘れない。歌は細胞の中に一瞬でダイレクトに入る」。そして、「明けぬ夜は無い。夜明けの前が一番暗い。そのことを忘れないでおきましょうね」と東北の被災地の方々に思いを馳せ「陽はまた昇る」を歌われた時、その歌が今までとは違う新しい力で心に迫ってきました。谷村氏のトークに癒され、笑い、歌とピアノに魅了された夢のような2時間でした。

終演後、会場の皆様の大きな拍手に包まれ、前田徹生学長より谷村新司氏に名誉学位記が授与されました。

第11回

ビジネスプランコンテスト

大阪南支部 池側 浩正

本学ハイビジョンシアターにおいて、開催されました。会場内は各方面からの審査員をはじめ、一次審査を経て選抜された男女7名の発表者がそろい、冬とはいえ熱気に包まれていました。



審査員は、【アイデアの面白さ】【アイデアの具体性】【プレゼンテーション能力】の3つの項目について審査し、得点を競います。持ち時間10分という短い時間内に自らのビジネスプランをわかりやすく説明することは、我々社会人でも大変難しいことですが、それぞれの学生たちは実に手際よくパワーポイントを駆使して発表を行っていました。どのプレゼンも着眼点が斬新で「なるほど!」とひざを打ちたくなることが何度もありました。

私は、その中でも特に小豆島出身の学生のプレゼンが印象に残っています。故郷である小豆島を活性化させるプランとして、インターネットを通じた民泊のスキームを構築するというビジネスプランで、興味深く聞かせていただきましたし、郷土愛の強さも感じられました。

その後、別室にて審査結果の集計、続いて表彰式が行われました。学生としての発想の柔軟性を生かし、これから社会に出てからも、いろんなことにチャレンジしてほしいと思います。



ビジネスプランコンテスト結果

【学長賞】

溝渕 杏 (社会学部社会学科2年次生)
「瀬戸内活性化プロジェクト 民泊.COM」

【同窓会会長賞】

遠藤 由菜 (経営学部経営学科3年次生)
「日本人の食事情」

【教育後援会会長賞】

吉松 仁志 (法学部法律学科3年次生)
「商品の「現状」「対策」を言葉にするサイト
～商品にあなたのプラスアルファを～」

【審査員特別賞】

岡野 友哉 (社会学部社会福祉学科4年次生)
「NURSING CARE STAFF HOUSE
介護職専門人材紹介事業」

【敢闘賞】

奥田 優 (経営学部経営学科2年次生)
「大学の可能性」

澤田 遼 (経営学部経営学科2年次生)
「学生のための情報カフェ～学生と企業の明日をつなぐ～」

飯田 実子 (経済学部経済学科3年次生)
「リアル災害脱出ゲーム」

2016年度 学年暦

春学期

4月 2日(土)	入学式
4月 3日(日)	新入生オリエンテーション
4月 4日(月)	春学期授業開始
4月 4日(月)～8日(金)	春学期履修登録
4月15日(金)	創立記念日(平常授業)
7月23日(土)	春学期授業終了
7月25日(月)～30日(土)	春学期末試験(予定)
8月 1日(月)	夏期休暇開始
8月 1日(月)～26日(金)	集中講義期間 (学院一斉休暇期間を除く)
8月 5日(金)～6日(土)	春学期末追試験(予定)
9月17日(土)	夏期休暇終了

*変則授業のため休日を下記のように変更します。

(創立記念日)	4月15日(金)	→	4月30日(土)
(海の日)	7月18日(月)	→	5月2日(月)
(敬老の日)	9月19日(月)	→	11月7日(月)
(秋分の日)	9月22日(木)	→	11月8日(火)
(体育の日)	10月10日(月)	→	2月1日(水)

秋学期

9月19日(月)	秋学期授業開始
9月19日(月)～23日(金)	秋学期履修登録
9月24日(土)	9月卒業証書・学位記授与式
11月 4日(金)～6日(日)	大学祭(休講)
11月25日(金)	聖アンデレ日礼拝
11月26日(土)	学院逝去者記念礼拝
12月 8日(木)	クリスマス礼拝
12月24日(土)	冬期休暇前授業終了
12月26日(月)	冬期休暇開始
1月 5日(木)	冬期休暇終了
1月 6日(金)	冬期休暇明け授業開始
1月23日(月)	秋学期授業終了
1月24日(火)～2月3日(金)	秋学期末試験(予定)
2月11日(土)～13日(月)	秋学期末追試験(予定)
3月17日(金)	卒業証書・学位記授与式

支部だより

大阪南支部

支部長 池側 浩正



就職講演会・ミニコンサート

2016年2月13日(土) 池側 浩正

恒例となりました、大阪南支部主催の「就職講演会」を本学チャペルにおいて開催しました。

今回は少し趣向を変え2部制とし、第1部では基調講演として大阪新卒応援ハローワーク 統括職業指導官 瀬戸浩氏を講師としてお招きし、「就活の進め方と知って役立つ労働法」と題して、「就活生に対し、親がどのようにかかわっていったらいいのか」をテーマにご講演いただきました。日々の業務の中で就職活動中の学生と接せられ、「過干渉でも無関心でもいけない。子どもが意見を求めてきたときには、必ず自分の意見を返してあげるようにすること」など、自らの経験に基づくアドバイスや、わかりやすい資料、実際のデータをもとにご講演いただき、参加した方々も熱心に聞き入っておられました。

第2部においては、ゴスペルとオペラのミニコンサートを行いました。最初は2015年6月に逝去された当大阪南支部の前支部長である故北野隆氏が、生前指導しておられた富田林市のゴスペルグループMix Voicesによるゴスペル合唱で、会場はチャペルにふさわしい清らかな歌声に包まれました。

続いて故北野隆氏のご令嬢であり、プロのソプラノ



オペラ歌手である北野智子氏がオペラ楽曲や故北野隆氏作曲による歌などを熱唱されました。私事で大変恐縮ですが、故北野隆氏の在りし日を偲び、胸が熱くなることもありました。さすがはオペラ歌手、マイクを使わずとも圧倒的な声量で聖堂内を満たしてくれましたので、我々も含め、すべての聴衆が本物の歌声に酔いしれました。

大阪南支部では、今後も、支部行事として「就職をテーマにする講演会」の趣旨を守りながら、今回のように芸術的な要素を加えることなど、たくさんの方に興味を持って聴いていただけるような新しい取り組みにチャレンジしていきたいと思っております。

京都・滋賀支部

支部長 中路 敏之



第4回 就職支援講演会

2016年3月5日(土) 中路 敏之

京都テルサで開催しました。今就職活動を行っている学生、これから就職活動をはじめようとする学生、その両方の保護者に向け情報の発信をしたいと思い、今回の講演会を企画しました。



最初にキャリアセンター事務課職員 松本雄一氏から、最近の進路状況と就職活動というテーマでお話しいただきました。アンケートにもありましたが大変わかりやすく、モチベーションアップにもつながったという声が多かったようです。次に京都ジョブパーク統括担当課長 坂根久尚氏から、現在の就職状況とジョブパークの取り組みについてというテーマでお話がなされました。京都滋賀の学生にとっては、地元での就職、地元の企業研究という大変興味深い内容で、気軽にジョブパークを利用しようという意識が感じられました。最後に法学部4年生今西拳さんが就職活動体験談として自分自身の失敗談や面接において心がけることなどを正直に話され、会場のOBや保護者の方が熱心に耳を傾けておられたのが印象的でした。

支部長に就任して最初の就職支援講演会でしたが、終わってみれば各講師の方々のわかりやすく丁寧な説明が全員の心に響き、大変有意義な1日になりました

大阪北支部

支部長 西村 浩一



川井教授&キャリアセンター講演会

2016年3月5日(土) 西村 浩一



社会学部社会福祉学科 川井太加子教授並びにキャリアセンター事務課職員 堀井由貴恵氏をお招きして開催いたしました。

川井教授は、これからの介護予防について講演され、現在の介護の状況と我々がこれからいかに介護予防に取り組みばよいか実にわかりやすく教えていただきました。役員の約半数が、自身の親や親類の介護に携わっており、子どもには同じ苦勞はかけさせたくないと思いで拝聴しておりました。

キャリアセンターの堀井氏からは、近年の就活解禁時期の複雑さや各学年で就職に向けて何をすべきか、またキャリアセンターが「就活Theリアル」等の様々な企画を交え、あらゆる角度から学生の就職活動を支えておられることをわかりやすく講演いただきました。質疑応答では成績や単位についても質問があり、6月の教育・就職懇談会での個人別成績面談をお勧めいたしました。

今回、公示が十分でなく大阪北支部会員の皆様にお

詫び申し上げますと共に、講師の方々をはじめ校友室 仲原健太郎氏、大学関係者の皆様に感謝申し上げます。

ご挨拶

高岡 由美子 (新役員)

このたび、教育後援会のお手伝いをさせていただくことになりました。月1回の役員会では皆様明るく親切で、より良い大学生活をサポートするための熱意を感じます。教育、就職と親として関心のある講演会もあり、大学がより身近なものになってきました。楽しく活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

池田 哲也 (新役員)

初めまして。この様な会に参加するのは初めてですが、皆様から親切に教えていただき少しずつ慣れてきました。少しでも学生の皆さんの役に立てればと思っております。

森本 裕紀 (退任)

きっかけは、北支部総会で水口浄治元支部長よりご子息と大学の関わり方のお話をうかがったことです。北支部では、子どもの為だけでなく自己啓発につながる社会勉強会、振り袖の会のボランティア活動、他支部の活動参加などをされているとうかがい、後援会に興味を抱きました。活動を通して役員の皆様と社会とのつながりを考える時間の共有ができました。

奈良・三重支部

支部長 原井 尚子



就職支援講演会

2015年11月28日(土) 新谷 由美子

経営学部 牧野丹奈子教授を講師にお招きし、奈良・三重支部の特別行事として開催しました。

第1部「社会人として必要な力」では、社会人基礎力①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力について分かりやすくお話しいただきました。また、企業で求められるコミュニケーション能力・主体性について、どのようなものか、身につける方法等、ためになるお話を聞かせていただきました。

第2部「就活における親との関係」では、アンケートをもとに学生たちの生の声を聞かせていただきました。卒業生の方の経験談を交えて、子どもの考えていること、親として子どもにどのように関わっていけばよい



のかを考える良い機会をいただきました。

遠からず、近からず、サポートをしていけるように私も成長していかなければと思っておりました。

私の大学生活

国際教養学部4年 柏原 光輔

私は4年間の大学生活で、専門的な知識を身に付けるだけでなく、サークル活動・中国内モンゴル自治区での緑化運動など、今しかできない多くの貴重な体験をさせていただきました。

その中で、私が強く感じたのは、コミュニケーションの難しさと楽しさです。様々な文化や考えを持つ人たちと関わってきたこの4年間は、うまくいかず悩んだこともありましたが、自ら試行錯誤し、積極的にコミュニケーションを取ることで、より楽しい大学生活を送ることができました。

4月からの社会人生活では、大学での学びを活かして、より良い人間関係を築いていきたいです。



支部だより

兵庫支部

支部長 野島 広道



就職支援講演会

2016年2月27日(土) 塩川 庸子

本学梅田サテライトにて開催いたしました。

まず、松端克文副学長より、「大学の現状について」をテーマに、軽快なリズムでわかりやすくご講演いただきました。志願者数が4年連続して増加していること、また、世界24の国と地域、57の大学・機関と国際交流の提携を行うなど今の時代にあった国際性豊かな大学の現状をお話いただきました。各種サポート体制も充実しており、学生のやる気があれば、いろいろなことに取り組むことができる。新聞掲載されたゼミでの取り組み・活動などもご紹介いただきました。

次に、キャリアセンター事務課 前澤暁課長より、「最近の進路状況や就職活動について」をテーマにお話いただきました。売り手市場ではあったけれど、複数の



の内定を得る学生と全く内定を得られない学生との二極化が進んでいる現状があることも教えていただきました

した。2016年は採用選考が6月に前倒しになるため、参加された保護者・学生は共に説明を熱心に聞かれました。



最後に、経済学部4年生永松義裕さんより、負けず嫌いの性格で、就職活動にもガンガン突き進んだ力強さを語っていただきました。梅田サテライトについては立地条件やキャリアセンターの職員の方の対応が良く、キャリアセンターに来る学生同士の横のつながりも生まれ、一緒に頑張ることができたそうです。精神面の大切さと、保護者としてできるサポートも確認することができました。

参加された方からのアンケートでは、「就活に対する意識が高まった」、「想像していた内容をはるかに上回り、ためになった」、「大学のことも知ることができよかった」などの感想をいただきました。次回は、学生の方にももっと参加していただき、就活についての意識を高めるきっかけを作っていきたいです。

和歌山支部

支部長 嶋本 圭志



第6回 就職支援講演会

2016年2月11日(木) 嶋本 圭志

和歌山J Aビルにて開催しました。県内各地より保護者や学生41名の皆様が参加くださいました。

講演会は、4名の講師の方々に各15分の持ち時間でお話をいただきました。ジョブカフェわかやま統括コーディネーター 高幣武嗣氏からは就職で大事なことについてお話がなされ「今より幸せになるため就職する。そのために今努力することが大切」とのメッセージをいただきました。キャリアセンター事務課 前澤暁課長からは、1～4年生の各学年で就職に向けてやっておくべきことを中心にお話いただきました。公務員に内定された中村建斗さんには最初から公務員を目標に頑張られた体験を、また本学



OBで大手ホームセンターに就職された福山友揮さんには、「職場でのコミュニケーションを大切に。まずは挨拶から…」と就職後3年間の現場での体験を語っていただきました。

講演の後はグループディスカッションを行いました。保護者や学生の皆様は3グループに分かれ、4名の講師の方々に交代して各グループを回っていただきました。グループディスカッションは前回に続き2回目の取り組み。「地元和歌山には大手企業が少なすぎると思うが…」、「オンリーワンの、小規模だが優秀な企業がたくさんあることを知って欲しい」、「就職活動で一番つらかったことは?」、「回りがどんどん決まってしまうのに、何度も落ちてなかなか内定がもらえず焦ったこと」など、どのグループでも活発な質疑応答や意見交流がなされました。

講演会終了後、参加者からは、「良い刺激になった、今後の就職活動の流れがわかり良かった」、「とても参考になる話を聞くことができた」などの感想をお聞きすることができました。講師の方々には、大変お忙しい中、快く依頼を引き受けていただきありがとうございます。

山口支部

支部長 廣實 みち代



支部長挨拶

廣實 みち代

月日の経つのは、早いものです。息子が4年生となり、私も支部に携わり4年目を迎える運びとなりました。最後の1年をどのような形で終わらせていくかが私の課題です。振り返れば引き継いだ時から支部の存続と発展を念頭にいたした3年間。何かひとつでも支部に残すことができたでしょうか？大学との架け橋の役目が果たせたでしょうか？課題はまだありますが、2016年度も支部の皆様と一緒に歩いていたら幸せに感じます。

大学への想い

辻野 光江

例えば、社会で通用する資格が100%取得できる。卒業までに不自由なく英語が使える。授業が英語のみで行われるなど、独自の特化したカリキュラムで他大学との差別化をはかる。卒業したら即、戦力。桃山ならではの柔軟な、魅力あふれる先生方のご指導のもと、社会に貢献できる人間へと成長できる大学であってほしいと期待しています。

西園 房子

3年生になった我が子も、ゼミやフィールドワーク等の経験を重ね、充実した学生生活を送っています。

しかし、いよいよ就職という重要な時期を前にして、離れている親としてはメールのやり取りでしか、手立てのない状況です。本学の支援体制には教育・就職懇談会を通じて信頼を寄せております。今後ともサポートをよろしくお願いいたします。

藤山 優子

息子ももうすぐ4年生。キャリアセンターや企業のインターンシップへのエントリーなど話題は就職活動に関するものになってきました。私も会社員としてPDCAサイクルやチームワーク、メンタルの強さが如何に大切であるか日々痛感しております。本学では講義は勿論、素晴らしいゼミやサークルなど多数あります。その仲間たちと関わることで色々な体験をし、社会に出た時、能力を発揮していくものだと思います。そのためには、大学内で人との関わりの少ない学生たちへのサポートをもっと強化していただけたらと思います。



辻野さん



左：西園さん
中央：廣實支部長
右：藤山さん

九州支部

支部長 宮崎 幸太郎



教育・就職サポート講演会

2016年1月24日(日) 宮崎 幸太郎

記録的な大寒波が九州北部を襲い大雪となった当日、九州支部主催のサポート講演会を開催しました。各交通機関が大混乱の中、遠方各地より大学関係者、保護者役員の14名がご参加くださいました。

講演では、松端克文副学長より、ご自身のご専攻である社会福祉関係の具体的な活動内容や、大学の目指されている学生の人材育成、また、就職に強い本学の取り組みについて、大変分かりやすく楽しくお話いただきました。



キャリアセンター事務課 永嶺敦史氏には、現4年生の就職活動状況を中心にお話いただきました。

現3年生以下についても、今後の就職活動対策や個別対応している支援やサポート内容について、また、九州出身の学生の様子も交えてお話くださり、親としましては大変心強い気持ちで聞かせていただきました。

参加いただいた保護者からも、

「先生方から貴重なお話をうかがえて良かった」、
「子どもとの会話のきっかけとなるような内容で、ぜひ話したいと思った」、
「大学の熱心な取り組みや様々なプログラムが良く分かった」

などと、講演会後のアンケートに、たくさんのご感想をいただきました。

学生の皆さんには、大学の4年間で何を学ぶのか、自己表現ができるか、当たり前のことを理解しているか、時には自分を客観的に見ながら、明るく元気で素直に、人に好かれる社会人になって欲しいと願うばかりです。講演会を無事に終えることができました。皆様には大変感謝申し上げます。ありがとうございました。

支部だより

広島支部

支部長 原田 有二



教育講演会

2015年12月5日(土) 原田 有二

JALシティ広島にて開催いたしました。

講師として、本学の卒業生で特定非営利団体活動法人ボラーノ本部顧問 八尾一雄氏を招き、「私の歩



八尾一雄氏

んだ役人生活」をテーマに講演していただきました。最初は民間の広告会社に就職されましたが、その後、佐東町役場に転職され、広島市教育委員会をはじめ広島市役所及び外郭団体に長きにわた

り活躍されました。特に区民文化センターで企画を担当された時には、津軽三味線の高橋竹山氏、カラーセル麻紀さん、チェックカーズ、島倉千代子さん等の興味深いお話を聞くことができました。歌あり、笑いあり、人生教訓ありと、あつという間の1時間の講演でした。「勉強も大事だが、自分一人では何もできないのだから、友達をたくさん作りなさい。」と言われた結びの言葉にたく

次に、尾道市出身の社会学部4年生本村竜太さんより、「就職活動体験談」について熱く話をさせていただきました。高校時にラグビーで頸椎を怪我し、挫折を味わうがそれをバネに飲食関係のアルバイトでは、調理師免許資格を取るなど色々な挑戦が就職活動にも活かされ、ユニチャームへの内定を獲得できたとのことです。

最後にキャリアセンター事務課職員 堀井由貴恵氏より、最新の就職状況の説明があり、「オワハラ」等の実態や最近の学生は、「リアクションがない」等の話に引き込まれました。事前の質問事項に対しては、本村さんとの対談形式で、的確なフィードバックがあり、参加した保護者から大変好評でした。



岡山支部

支部長 橋本 敬二



就職支援講演会

2016年3月19日(土) 橋本 敬二

岡山支部活動の一環で、1～3年生の保護者と学生を対象に岡山シティホテル厚生町にて開催しました。

教育後援会 西田秀治副会長より、ご挨拶をいただいたのち、「変わりゆく就職活動の現状と対策について」と題し、キャリアセンター事務課職員 松山智樹氏より、就職活動のスケジュールや就職事情について、大変わかりやすく講演いただきました。

続いて、2016年春卒業し、岡山県内に本社のある企業に就職されます小谷翔太さんより、体験報告と家族からの支援について、大変ためになるお話をうかがうことができました。さらに2015年大阪府内へ就職されたOGの山本真優さんより、社会人としての心構えなどのお話も聞くことができました。



参加者の中にはこの春より就職活動を開始される学生もおられ、



大変ためになる講演会が行えたと思います。今後も岡山支部の皆様、少しでも役にたつ支部活動を行ってまいりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2016年3月17日(木)

卒業式当日、谷村新司氏名誉博士学位授与特別企画トーク&ライブ ココロの学校にも参加させていただきました。心が洗われるような感動をいただきました。変わりゆく、桃山学院大学も感じることができました。本当にありがとうございました。

山陰支部

支部長 美柑 貢

支部行事報告

美柑 貢

山陰支部では、2015年の11月に2週連続して支部行事を行いました。

まず、大学祭期間中の15日(日)に行ったのはキャンパス見学会です。11時にチャペル前に集合、記念撮影後、教育後援会 竹井源五会長よりご挨拶をいただきました。その後、校友室の方の案内でキャンパス内の各施設を見て回りました。前日の雨も上がりおだやかな秋空のもと、模擬店やフリーマーケットで賑わうキャンパス内をゆっくり見て回りました。図書館では蔵書の多さに圧倒され、体育館では充実した施設に驚かされ、学生たちが満喫したキャンパスライフを送っているものと確信いたしました。

21日(土)には、鳥根県の松江テルサを会場に、教育後援会 羽山春美書記にも同席いただき就職支援講演会を行いました。午後の3時より開会、12名が出席いたしました。最初に約1時間、キャリアセンター事務課 奥健太氏より「大学の就職支援体制と就活状況」と題して講演をいただきました。前半は2015年度の企業の採用活動、状況について説明があり、後半は就職に向けて学生がどのような活動をすればよいのか、キャリアセンターがどのような対応をしてい



るかお話しいただきました。

次に就職体験の発表を法学部4年生三澤翔さんをお願いしました。大学卒業後は地元に戻って就職されるそうで、就職活動をした学生ならではの貴重な体験談を聞くことができました。最後に、ふるさと鳥根定住財団(じょぶカフェしまね) 小橋達也氏より鳥根県での就職活動支援の説明があり、ふるさと鳥取県定住機構については、私が事前取材していた内容をお話ししました。

わずか2時間ほどでしたが、2015年度の就職状況の具体的な情報や、地元出身の学生による就職体験を聞くなど内容ある会であったと思います。多く方のご協力に感謝し、山陰支部の報告といたします。

四国支部

支部長 岡崎 義弘

桃山祭キャンパス見学に参加して

2015年11月14日(土) 長田 巧子

秋晴れのなか、四国支部からは岡崎義弘支部長を中心に約10名の参加がありました。



校友室 仲原健太郎氏のご案内で、普段目にすることができない素晴らしい施設や設備を約1時間余り、丁寧に説明していただきながら見学しました。

講義室やセミナー室には最新鋭のパソコンやモニター等が完備されていました。中でも約70万冊の蔵書を誇る図書館は、一般開放もされており、地域に根差した開かれた大学であることを実感しました。

スポーツ施設も充実しており、恵まれた環境下で幅

広い種目のスポーツに使用できるよう配慮されてきました。教育後援会からの支援が学生の充実した大学生活のために有効に役立てられているとうかがい、非常に安心しました。

55回を迎える桃山祭は「一桃団結」のテーマのとおり、団結し趣向をこらした内容となっており、とても楽しく、時間が過ぎるのを忘れるほどでした。学生の活き活きとした姿はエネルギーでとても力強さを感じました。何より「参加者全員が笑顔になれる!!」とても特別な空間でした。

最後になりましたが、当企画にご尽力いただいた全ての方々に感謝いたします。

キャリア支援講座を開催

2016年2月28日(日)



北陸支部

支部長 日光 保



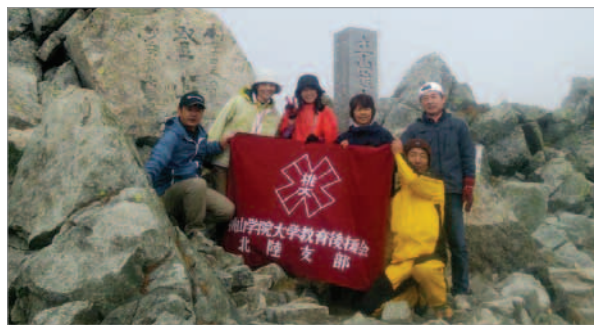
保護者交流会

2015年9月27日(日) 日光 保

北陸支部は例年「顔の見える活動」を目標に活動を行っております。

「共に汗を流し、美しい自然を共有することで一歩近づいた間柄になる」ことをコンセプトに2015年度は9月27日(日)に保護者交流会として立山登山を実施しました。

なぜ立山登山?と疑問を持たれた方もいらっしゃると思いますが、立山は北陸を代表する観光スポットで近年では外国人観光客のツアーコースになってい



ます。高原バスなどを利用して海拔2,000mを超える登山口の室堂まで行けることが人気の理由です。また登山道は小学生や女性でも歩きやすい様に、石畳のような道で整備され所々にベンチがあり休憩しながら登りました。

途中、立ち往生していたイギリスから来たカップル(あとで分かったことですが、防寒具や登山靴もなく登ってしまったらしく)を助けるなど、思いがけない国際交流もありました。

私を含め、登山未経験の方がほとんどでしたが、一人の脱落者もなく登頂できた喜びと山頂からの絶景に感動しました。

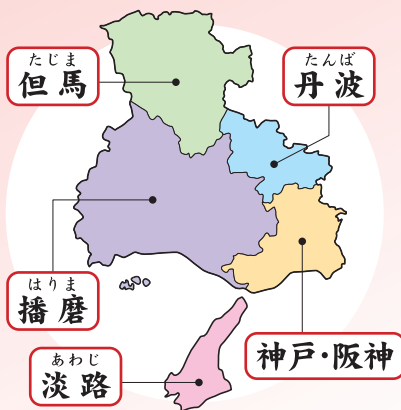
私を含め、登山未経験の方がほとんどでしたが、一人の脱落者もなく登頂できた喜びと山頂からの絶景に感動しました。

チョコッとお国自慢

「兵庫へようこそ」

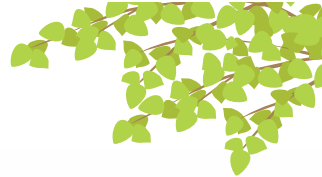
兵庫支部 高木 桂子

兵庫県は日本列島の中央に位置し、日本の標準時を定める東経135度の子午線が県央を通っています。南は瀬戸内海から北は日本海まで広大な面積を持つ魅力的な県です。6つのエリアに分けて紹介します。



- 但馬エリアは、外湯巡りが人気の城崎温泉や、ひなびた雰囲気がある湯村温泉など関西屈指の温泉街です。日本海の幸にも恵まれ松葉ガニが絶品です。
- 丹波エリアは、城跡や武家屋敷など今も城下町の面影が残る情緒溢れる町です。栗・黒豆・猪肉・シイタケといった丹波ブランドの食材の宝庫です。

- 播磨エリアは、世界遺産に日本で初めて登録された姫路城や、忠臣蔵ゆかりの地赤穂や明石など海岸沿いに史跡が残る街が連なり、豊かな大自然が広がっています。
- 淡路島エリアは、瀬戸内海最大の島です。あわじ花さじきや灘黒岩水仙郷など「花の島」と呼ばれています。鳴門大橋周辺に現れる迫力あるうず潮が見所です。
- 神戸エリアは、貿易港として長い歴史を誇り、風格のあるモダンな洋館が立ち並ぶ北野異人館やチャイナタウンなど県内屈指の観光地です。日本三古泉のひとつ有馬温泉は、秀吉が愛した名湯です。
- 阪神エリアは、神戸と大阪の2大都市間をつなぐエリアで、エンターテインメントの地として独自の文化があります。102年続く宝塚歌劇は、花・月・雪・星・宙の各組とスペシャリストが集まる専科が華やかな舞台を展開しています。豪華な衣装や演出効果で迫力がある生演奏で毎年100万人以上を魅了しています。阪神甲子園球場は、高校球児の憧れの聖地であり、春・夏には高校球児が数々の熱戦を繰り広げています。阪神タイガースのホーム球場であり、熱狂的な阪神ファンの六甲おろしの大合唱に日々包まれています。



キャリアセンターからのお知らせ

現在の就職状況・傾向について

2016年3月卒業生の就職活動ですが、企業情報の広報開始が12月から3月に、選考開始が4月から8月に変更されました。この変更により、「大手企業の選考前に中堅企業が選考」→「大手企業の前に中堅企業の選考を受ける学生が増加」→「大手企業の内定出し後、中堅企業の内定を辞退する学生が多数発生」→「昨年度までより10月時点で内定を貰った学生は減少」→「秋以降選考をする企業・学生が増加」→「就活の長期化」となりました。結果として①内定を複数貰う学生となかなか貰えない学生、学生を確保できる企業と苦勞する企業の二極化が進んだ ②学生の就職活動の長期化 ③上記選考ルールを守らない企業の増加 という傾向になります。

内定を多く貰う学生の特徴は、①大学生生活を前向きに過ごしている ②自分で考えて行動している ③あたりまえの事があたりまえにできている、などです。また面接では「自己PR」や「大学生活でがんばったこと」「ゼミでの学びについて」について聞かれる事が多いのですが、話す事がない学生は苦戦しています。そういう意味では大学生生活の過ごし方が問われているといえます。また企業の採用意欲は旺盛です。大学に届く求人票の件数は2016年卒で7,000件と3年前に比べ倍増しており、ユニ・チャーム株式会社、株式会社日立製作所、みずほフィナンシャルグループなど人気企業への内定者もあり、また1・2月でも大手企業からの内定者が出ており、キチンと準備してきた学生にとっては比較的恵まれた求人環境であったといえます。

最終的な内定・就職率については現在調査中ですが、3月末現在では昨年より高い数字になっています。

2017年3月卒業予定者の就職活動ですが、広報開始は3月1日からのままで選考開始が6月1日に前倒しとなりました。3月に梅田サテライトにて連日企業説明会を実施しましたが、のべ2,700名の学生が来室するなど、約600名の

学生が積極的に利用し就職活動を頑張っています。企業は採用数を「増やす」という企業が「減らす」を上回っており、学生にとっては有利な「売り手」市場になりそうです。新4年生には就活ですぐに結果が出なくとも活動し続ける、そして壁にぶち当たった時には自分で考えキャリアセンターを利用して欲しいと思います。

2018年3月卒業予定者の選考スケジュールは3月末段階ではまだ明らかになっていません。広報解禁時期が早まる、いや動かないなど噂は様々ですが12月広報解禁など早期化の可能性もある為、新3年生向けのガイダンスは昨年と比べ少し前倒して実施する予定です。また、ここ最近の株価及び景況感の変化により、採用環境が悪化する可能性があります。ただし、採用環境が厳しくなっても企業から「是非採用したい!」と思わせる「社会人基礎力」や「教養」をそれまでに身につけておけば心配ありません。その為の様々な入り口は大学の様々な所にあるのです。ぜひ学生の皆さん全員が有意義な大学生活を送られる事を祈っています。

就職活動において疑問や興味があれば、いつでもキャリアセンターにお越しください。

2015年度 就職内定状況

注：大学に報告があった件数 (2016.3.31現在)

	男子	女子	合計
求職登録者数	739名 ※772名	435名 ※504名	1,174名 ※1,276名
内定報告者数 (大学に報告があった件数)	608名	369名	977名
内定率	82.3% ※79.2%	84.8% ※85.9%	83.2% ※81.8%
内定うち			
民間企業・福祉関係等 (公務除く)	573名	356名	929名
公務員	35名	13名	48名
うち福祉職	23名	36名	59名

(※は昨年同時期)

私達と一緒に活動しませんか?

教育後援会は、保護者と大学とのかけはしとなり、お子様の学生生活をサポートするため、様々な活動を行っています。只今、一緒に活動していただける方を募集しております。教育・就職懇談会にて各支部の役員まで、ご連絡ください。

連絡先 教育後援会 各支部

●編集後記●

4月に熊本県などを襲った一連の地震は、多くの尊い命を奪い、家屋の倒壊など各地で甚大な被害をもたらしました。今なお多くの方々が避難を余儀なくされています。被災地の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、2013年の創刊以来、春・秋にお届けしてまいりました「かけはし」は2016年度より年1回の発行となります。次号は2017年5月発行の予定です。今後も教育後援会の活動を中心に種々の情報を発信していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。(教育後援会 広報 坂本 啓子)

表紙写真：本学写真部 表紙題字：教育後援会 前副会長 佐藤静子



2016年度 教育・就職懇談会／支部総会日程

2016年度も、教育後援会の主要な活動の一環である「教育・就職懇談会/支部総会」が全国各地において以下のとおり開催されます。保護者の皆様、ぜひご参加ください。



開催日	支部（会場）	
6月4日(土)	東海	キャッスルプラザ
5日(日)	関東以北	新宿ワシントンホテル
	大阪北	桃山学院大学
12日(日)	奈良・三重	檀原観光ホテル
	和歌山	アバローム紀の国
18日(土)	山口	山口グランドホテル
19日(日)	九州	ホテルセントラーザ博多
	大阪南	桃山学院大学
25日(土)	京都・滋賀	京都タワーホテル
26日(日)	北陸	ホテル金沢
	兵庫	神戸三宮東急REIホテル
7月2日(土)	広島	ホテルJALシティ広島
	岡山	アークホテル岡山
3日(日)	四国	リーガホテルゼスト高松
	山陰	米子全日空ホテル

桃山学院大学教育後援会

大阪府和泉市まなび野1番1号 TEL.0725(54)3131(代)
URL <http://www.andrew.ac.jp/koyu/kouenkai.html>